

令和2年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	立石薬品株式会社	代表者	立石 美井	法人・事業所の特徴	まつおかのまんてん星は道路から少し奥まった所にあり建物はピンク色でユニフォームもピンク色です。スタッフは19名いますが一人一人持っている物を生かしながら利用者様のお手伝いをさせて頂いております。コロナ禍で外出する機会がグッと減ってしまいましたがスタッフが色々考えたゲームを行ったり作品作りをし利用者様一人一人に合った出来ることを探しながら過ごさせて頂いております。今後地域との交流が出来るようになりましたら地域の方々と交流し、必要とされる事業所を目標にしていきたいと思っております。
事業所名	まつおかのまんてん星	管理者	西村 温美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	0人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・今後も利用者様の情報の共有化に努め、ケアプランに添った介護を目指し言葉で表現し記録に残していく。	・利用者様の情報について日頃から申し送りノートや、朝の引継ぎ時間を利用し共有に努めている。小規模計画書の内容を毎月評価する事でケアプランを意識するようになった。	・利用者からの聞き取りが難しかったり、スタッフが家族と関わる時間に限りがある為、自宅での生活スタイルを知る事が難しくなっている。 ・自宅での生活・暮らしについての把握が出来ていない一方自宅で暮らし続けられるように隣近所の方・民生委員さん等に協力して頂いているケースもある。	・利用者様の今の状況だけでなく昔どんな生活をされていたのか・好まれる事等家族に協力して頂き、一人一人の利用者様を知る努力をしケアに生かしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・相談者や見学者の都合に合わせ、随時来所して頂けるような事業所にしていく。	・電話での相談や問い合わせに随時対応しています。見学についてはコロナ禍なので利用者様が帰られなくなった時間帯に検温・アルコール消毒・マスク着用・体調確認を徹底し見学させて頂いております。	・コロナ禍で難しい時、皆が改善に向かって積極的に取り組んでいる様です。	・コロナ禍なので、アルコール消毒を定期的に行い環境整備をし、新型コロナウイルス感染症を持ち込まないようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の方々とイベントで交流しながら、まんてん星を認知して頂き、介護の事で必要とされる事業所になっていく。	・令和2年度はコロナ禍でイベントが出来る状況でなく、交流が持てなかった為、必要とされる事業所になったか不明。	・徐々に認知されてきましたが、コロナが収束後は積極的に行動できたらいいと思います。	・コロナ禍で地域との関わりはほとんど無いが、状況をみながらいつでも交流が持てるようにしておく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・昨年に引き続いて地域の行事に積極的に参加出来るよう計画を立て参加していく。	・コロナ禍の為、行事が出来る状況でなかった。	・コロナ禍の為難しかった様です。利用者が楽しめるよう、できる範囲でのイベント等を今年度は検討できると思います。	・地域の行事について、現段階では開催は困難と思われる。その為、引き続き事業所内で小さなイベントを行い利用者様にメリハリのある楽しい日々を過ごして頂けるよう努力していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・小規模多機能型居宅介護事業所の仕組みを知って頂き、役員さんからイベント等の情報を得て地域と交流していく。	・コロナ禍で利用者様やスタッフがいる中、運営推進会議を開催すると密になってしまう為、行えなかった。利用者様の登録状況や活動報告・まんてん新聞などを配布し少しでもまんてん星の状況を伝えられるように努めた。	・今後も状況を踏まえての判断になると思いますが、出来る限りでの状況の報告・意見徴収等をして頂けるとご家族も安心出来るかと思っております。	・運営推進会議の事業所内の開催は状況をみながらになると思われる。役員の方々には今迄資料配布を行ってきたが、今後はお会いした役員さんに状況報告をしながら意見を頂けるよう努めていきたい。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>・今後も四ツ家区の防災訓練に参加し、まんてん星の防災訓練にも協力して頂けるような関係作りをしていく。</p>	<p>・地区の防災訓練は中止になってしまったが、事業所では定期的な防災訓練は行っていた。防災計画はある。</p>	<p>・区域防災訓練は中止され、収束されるまで待つのでしょうか 然しこのような時に防災・災害対策は如何にしていくか取り組む機会だと思えます。</p>	<p>・事業所の防災・災害計画を見直しながらその時々利用者様にあった避難方法を考え訓練していく。</p>
----------------------------	-----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------